

原子力の定着を阻害する課題と対応

澤田哲生

エネルギー・サイエンティスト

(元東工大科学技術創成研究院・ゼロカーボンエネルギー研究所)

概要

- 原子力発電の普及拡大・定着を阻害する要因を3つの側面から分析する。
 - ①内部的側面：東電問題、関電問題、核燃料サイクル
 - ②政策的側面：エネルギー基本計画、資金調達手法
 - ③社会的側面：原子力への理解促進、風評被害

①内部的側面

- 東電問題

- 1F：廃炉における不透明感、ALPS処理水放出
- KKガバナンス

- 関電問題

- 森山「噴火リスク」、リニエンシー、中間貯蔵、不正閲覧

- 核燃料サイクル

- メディアにおける根強い不信感

高速炉/核燃料サイクルの意義が流布していない
内部からの不協和音

②政策的側面

- エネルギー基本計画
 - 第7次エネルギー基本計画
 - “原子力を最大限活用、前のめりから実質感へ”
- 資金調達手法

③社会的側面

- 原子力への理解促進
 - 世の中の“どちらでもない”派へのアプローチ
 - アクセスしやすい&信頼にたるデータが見つけにくい、もしくははない
- 風評被害
 - 中国など：政治的課題
 - 信頼感の醸成
 - ALPS処理水放出—常磐もの支援→SNWへの期待